

Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校
学校だより 令和6年度4月号
HP: <http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

佐渡中等教育学校 第17回 入学式

令和6年4月8日(月)、第17回入学式が挙行され、17期生26人を迎え入れました。新入生はこの3月まで小学生でしたので、まだ初々しく、真新しい制服が体に馴染むのはこれからという生徒も多くいました。担任の先生から一人一人呼名され、石川校長より入学が許可されました。保護者の皆様、来賓の方々、学校職員に見守られる中、新入生全員が決意を新たに式に臨みました。その後、新入生を代表して、「誓いの言葉」がありました。最後に写真撮影を行い、終始和やかな雰囲気で行うことができました。



校長式辞 石川 譲太 校長

日増しに暖かさが増し、草花や鳥の鳴き声にも本格的な春の訪れが感ぜられるこの佳き日、多数の来賓の皆様のお臨席を賜り、令和六年度新潟県立佐渡中等教育学校の入学式を挙行できますことに心より感謝申し上げます。

また、御参席いただきました保護者の皆様にお心よりお祝い申し上げます。

「本日はまことにありがとうございます。」

新潟県立佐渡中等教育学校は、平成二十年に開校し、本年、令和六年には創立十七年目を迎える佐渡地区唯一の中等教育学校です。

これまでの間、平成二十一年には、オンリーワンスクール推進事業の研究開発校として指定を受け、平成二十七年にはユネスコスクール加盟、昨年度まで、文部科学省の委託事業である、本県「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」の推進校となるなど、実績を積み重ねてまいりました。さらには、前身の県立両津高等学校からの長い歴史と伝統を受け継ぎ、県内はもとより全国各地に優秀な人材を輩出してまいりました。

さて、本校は開校以来、「Catch the WAVES!」「夢を叶える波をつかめ!」を校是として掲げています。

本校の教育目標は

「佐渡の歴史と文化に誇りを持ち、豊かな知性と人間性を身に付け、世界的視野で活躍できる人材の育成」であります。

この教育目標を達成するために、工夫を凝らした授業実践はもとより、中等教育学校ならではの特性を生かした、前期・後期生合同の学校行事を始め、自主的な活動も充実しています。

また、ユネスコスクールとして、持続可能な社会の構築を目指し、環境保護、人権や民主主義、国際交流、異文化理解の取組として、様々な活動を行っています。前期課程では、「総合的な学習の時間」に「佐渡未来学」と「能楽」を設置し、地域の皆様にも多大な御支援をいただくとともに、後期課程では海外研修を実施し、まさにグローバルな視点で、特色ある教育活動を展開しています。

ただ今入学を許可いたしました二十六名の皆さん「入学おめでとう」。皆さんは、新型コロナウイルス感染拡大の最中で小学校生活を送られ、その困難を乗り越え、本日、中等教育学校に入学されました。心から敬意を表します。

皆さんは、本校において自らを鍛え、自己実現の努力をしようと、入学式を迎えていることと思います。今の気持ちを忘れず、充実した六年間を過ごされるよう期待します。

校長として、皆さんにお願いしたいことが二つあります。

一点目は「他者を思いやる心を養い、協調性をもって学校生活を送ってほしい」ということです。

インターネットを通じたさまざまなコミュニケーションツールが発達し、私たちが社会生活を送る上で、なくてはならないものとなりました。しかし、人間関係を構築し、維持していく上で、インターネットはあくまでも仮想の空間です。皆さんは中等教育学校で、教職員や先輩、友人と直に接することで対人関係の勉強をしなければなりません。人間関係を学ぶ上で失敗はつきものです。けれども、不快な思いをしたとしても決して他の人を傷つける言動をとってはいけません。「他者を思いやる心を養い、協調性をもって」学校生活を送ることをお願いします。

二点目は「将来の夢を実現するために努力を続けてほしい」ということです。

皆さんは、小学校の六年間の学びを終えて、中等教育学校で学ぼうと決意しました。そして、希望を果たして、本日、入学式を迎えました。今のその高揚した、晴れやかな気持ちを忘れず、真摯なものごとに向き合ってください。「初心忘れるべからず」。将来、学びたいこと、職業としたいこと、こんな大人になりたいなどという憧れを忘れずに努力を続けてほしい、と願います。

さて、「保護者、御家族の皆様、改めて、お子様の入学誠におめでとうございます。」中等教育学校で学ぶ六年間は、お子様にとって、自己を鍛え、社会性を身に付けて世の中に出る準備をする大切な期間であります。本校職員一同、お預かりする生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるよう、精一杯支援をしていく所存であります。御家庭におきましても、心身の発達段階にあるお子様方の見守りをよろしくお願いいたします。御家庭と学校とが力を合わせていくことが大切だと思います。どうぞ六年間よろしくお願いいたします。

結びに、新入生の皆さんが、佐渡中等教育学校の生徒として、心身ともに健康で、充実した学校生活を送ることを期待して、式辞といたします。

令和六年四月八日

新潟県立佐渡中等教育学校長 石川 譲太

「誓いの言葉」 新入生代表 山本 旦都さん

新たな風が吹き始める春の良き日、私たち二十六名は、佐渡中等教育学校の一員になることができ、新入生一同、喜びと希望で胸がいっぱいです。

本日は、私たちのためにこのような素晴らしい入学式を執り行っただき、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、緊張していた私たちに多くの励ましの言葉をいただき、心より感謝いたします。

私たちは、これからの学校生活への期待や希望に胸を膨らませ、佐渡中等教育学校で過ごす六年間の日々の中で、様々な経験を通し、多くのことを得たいと思います。新たな経験をしていくにあたり、壁にぶつかり、前の進み方が分からず、立ち止まってしまうことがあると思います。そんな時には、諦めるのではなく、仲間と手を取り合い、時には先生方や先輩方からの力を借りながら、少しでも前へ進めるよう努力をしていきます。

さて、一年の始まりである元日に能登半島沖地震が起こり、佐渡市では震度五を観測し、被害報告もありました。自然災害を目の当たりにし、その恐ろしさを実感しましたが、石川県内では、今なお避難生活を余儀なくされている方が多くいます。そうした中で被災されている人たちの助けになり、支えになっているボランティアの方々の協力し合う姿を見ることで、私たちに何かできることを考えていく必要があると思っています。

今日からの六年間は、佐渡中等教育学校の生徒としての自覚や誇りを持ち、仲間と共に助け合い、一つ一つの行動に責任を持ち、自立した学校生活を送れるように心がけていきたいと思っています。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。そのときには、厳しく、そして時には温かいご指導をくださいますようよろしくお願い申し上げます。また、保護者の皆様には、私たちの成長する姿を温かく見守っていただけると嬉しいです。

私たちは、これから佐渡中等教育学校の生徒として、お互い良い影響を与え合い、良い刺激をし合える仲間と共に学校生活を送ることを表明し、誓いの言葉とさせていただきます。

令和六年四月八日

新入生代表 山本 旦都

ようこそ佐渡中等へ！ 赴任された先生方からのメッセージ

石川 譲太校長先生

今年度から参りました石川と申します。前任校は羽茂高校です。これまで、島内の学校に4回勤務しましたが、佐渡中等教育学校に勤務するのははじめてです。

佐渡中等の皆さんの学習や部活動、探究活動などに接することを幸せに思います。特に、前期生の学校生活を見るのは初めてですので、とても楽しみにしています。

“Catch the WAVES!”とてもいい響きですね。どうぞよろしくお願い申し上げます。



引野 太 教頭先生 (前期課程)

佐渡市立相川中学校から参りました引野太です。私は、佐渡出身で新穂地区に住んでいます。以前、両津地区にある中学校に5年間勤務していましたので、とても懐かしい感じがします。佐渡中等教育学校は、学習や部活動だけではなく、文化的な活動も盛んなイメージがあります。この特色ある学校で1日も早く、皆さんと一緒にスクールライフを楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



たかはし ききこ
高橋 咲子先生（国語、1年1組担任、卓球部）

こんにちは、はじめまして。高橋咲子と申します。この学校に高橋が2人いるので、うまく呼び分けてもらえればと思います。

みなさんに会えるのを楽しみにしてきました。みなさんは必ずキラッと光るものをもっています。それをたくさん見つけていきます。みなさんが充実した人生を送れるよう精一杯がんばっていきますので、どうぞよろしくお祈りいたします。



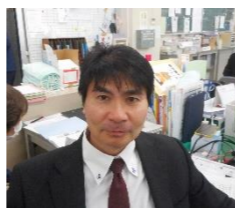
たかはし けい
高橋 圭先生（社会、3年1組担任、バレーボール部）

山形県の飯豊町立飯豊中学校から参りました。前任校では4年間中学教員として、野球部顧問として勤めました。大学時代は新潟におり、とても楽しい思い出がたくさんあります。教員として初めての新潟、初めての中等教育学校で不安と同時にワクワクも大きいです。また佐渡も初めてですので、様々教えてください。初めてのことばかりですので、子どもたちと共に学び、共に楽しんでいきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。



まかもと こういち
坂本 光一先生（理科、3年1組担任、グローバルアクト探究部）

皆さん、初めまして。坂本です。この度、佐渡中等教育学校へ着任させていただきました。生徒の皆さんや保護者の皆様と共に、良い学びの場を築いていけることを心より楽しみにしています。生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、共に成長し、明るい未来を築くために努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。



ほしな ゆうたろう
保科 裕太郎先生（保健体育、1年1組担任、陸上競技部）

長岡市立宮内中学校からまいりました。実は、佐渡に来たのは小学校6年生の時の修学旅行以来です。自然が豊かであり、歴史と文化を大切にしているこの地でみなさんと一緒に学ぶことがとても楽しみです。佐渡のことは間違いなくみなさんの方が詳しいです。ぜひ色々なことを教えてください。

私はみなさんと多くの成功と楽しさを共有したいです。失敗することもあると思いますが、前向きに取り組んで成功につなげましょう。よろしくお祈りいたします。



みやざき あらた
宮崎 新先生（英語、2年1組担任、バスケットボール部）

この春、上越市から赴任してきました宮崎新と申します。佐渡には何度か旅行で訪れたことがありますが、住むのは初めてです。最近佐渡の美味しい料理やきれいな景色をリサーチしていますので、おすすめスポットがあればぜひ教えてください。担当教科は英語です。難しいことも多い科目ですが、一緒に楽しく学んでいきましょう。

これから皆さんと勉強したり、様々な行事に参加したりするのを楽しみにしています。よろしくお祈りいたします！



今までありがとうございました！ 離任された先生方からのメッセージ

白藤 恵一校長先生

生徒の皆さん、先生方、保護者・地域の皆様、大変お世話になりありがとうございました。全世界が翻弄されたコロナ禍真只中、アフターコロナを皆さんとともに過ごした3年間はかけがえない毎日でした。学びの形や学校の在り方が問われる中、海外研修旅行の復活、能楽発表会、異年齢集団で取り組む魅力・特色ある多岐にわたる学校行事、コンパクトゆえに生徒へ目が行き届く面倒見の良い先生方のもと、生徒が元気に夢の実現へ成長できる佐渡中等を誇りに感じます。

皆さんの成長と夢の実現を遠くから祈念しています。一期一会、健康第一、世界平和、そして佐渡中等・・・、感動感謝！お元気です！



中澤 健太教頭先生（前期課程）

佐渡中等教育学校では、3年間お世話になりました。放課後、校舎をまわると、勉強、部活、生徒会活動に、前向きに全力で取り組む皆さんの姿を見て、いつも元気をもらっていました。また、保護者の皆様には、PTA 活動に積極的にいかかわっていただき、大変感謝しています。様々な活動を通して、保護者の皆様と親睦が深まり、とても有意義な時間を過ごすことができました。次に務める学校も島内になりますので、近くで皆さんの活躍を見守っていききたいと思います。3年間ありがとうございました。



関口 歩先生（国語、旧6年1組担任）

みなさん、好きな本はありますか？本には様々な種類があります。図書館では「日本十進分類法」に従って本が並んでいます。本屋さんだと、「文芸」「実用書」「ビジネス書」というジャンル分けがあるかもしれませんが。本のサイズに注目すれば「文庫本」「新書本」などがあります。みなさんの好きな本はどのような種類の本でしょうか？好きな本に出会うには「読みたい本」を見つけることが一番の近道だと思います。ぜひ本を通して、色々な世界に触れてくださいね。



佐藤 南美先生（国語、旧1年1組担任、バスケットボール部）

この3年間和田アキ子さんの「あの鐘をならすのはあなた」の一節が頭の中に流れていました。「あなたに会えてよかった あなたには希望のにおいがする」佐渡中等教育学校の生徒のみなさんは希望を胸に前を向いてきらきらと輝いていて、この輝きを増すために自分は何ができるのかいつも考えていました。6年の佐渡中等教育学校の生活を終えた後、みなさんが希望を叶え、未来に向かって力強く歩んでいけるよう遠くから応援しています。3年間ありがとうございました。



佐藤 孝行先生（理科、旧6年1組担任、グローバルアクト探究部）

在校生の皆さんへ、
この度、相川分校に異動することとなりました。この学校で過ごしてきた9年という時間は、私にとって非常に大切なもので、皆さんとの思い出は私の心に深く刻まれています。私たちはみな異なる背景や経験を持っています。お互い相手の人格を尊重し理解し合うことで良い人間関係が築けます。相手への感謝の気持ちを忘れずに。夢を追いかけ、自分を信じて進んでいってください。皆さんのご活躍をお祈りしております。



伊藤 志保先生（保健体育、旧2年1組担任、バレーボール部）

3年間、お世話になりました。佐渡中等に赴任する前は、小学校の修学旅行でしか佐渡に来たことがなく、とても遠いところのイメージでした。縁あって佐渡中等に赴任することとなり、佐渡で生活する中で、佐渡の景色の素晴らしさや人の温かさに触れ、今までにない経験をたくさんすることができました。今ではもう、佐渡がとても身近な場所に感じます。

佐渡中等では、2年生担任をはじめ、体育の授業、バレーボール部、生徒会を担当させていただきました。そうした活動の中でたくさんの生徒や保護者の皆様と関わることができたことがとても嬉しく、誇らしく思います。ですが、まだまだ一緒にやりたかったことがたくさんあり、途中で転任しなければならぬことが本当に心残りです。しかし、佐渡中等の生徒ならこれからの活動に挑戦し続け、頑張ってくれと信じています。これからも成長し続ける佐渡中等の生徒を応援しています。頑張れ！佐渡中等！本当にお世話になりました。ありがとうございました。



石川 卓也先生（英語、旧2年1組担任、陸上競技部）

佐渡中等教育学校には6年間お世話になりました。2年生～6年生のみなさんとは、英語の授業で全員と関わることができました。いつもまじめに、そして楽しんで授業を受けてくれて本当にありがたかったです。部活動でも陸上部のみなさんは練習や大会でがんばる姿をたくさん見せてくれました。佐渡中等で過ごした毎日が私にとって宝物です。本当に幸せな毎日を過ごさせてくれました。これからもみなさんの活躍を心から願っています。ありがとうございました。



星名 芳子先生（英語、旧2年1組副任、グローバルアクト探究部）

みなさん、ありがとうございました。そして、またお邪魔することになるかと思います。その時は、よろしくお祈りいたします。あっという間の1年でした。毎年そう言っている気がします。私がみなさんの年齢の頃は、日々のらりくらしで過ごしていました。今では後悔しています。あの時にしかできなかったことがあるからです。月日が経つのはあっという間です。一日一日を大切に、無駄にすることなく、時には後ろを振り返りながら、前に進んでいきましょう。

